



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月30日

上場会社名 中部飼料株式会社
 コード番号 2053 URL <http://www.chubushiryo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 平野 宏
 問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部長 (氏名) 井藤 直樹
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東名

TEL 052-562-2010
 平成26年12月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	77,824	4.8	637	△18.3	585	△37.6	412	△32.5
26年3月期第2四半期	74,287	15.8	780	△20.9	939	△14.4	611	26.1

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 844百万円 (5.1%) 26年3月期第2四半期 803百万円 (225.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	15.68	—
26年3月期第2四半期	23.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	66,273		37,110		56.0	
26年3月期	65,382		36,474		55.8	

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 37,089百万円 26年3月期 36,460百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
27年3月期	—	9.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	155,000	1.4	1,850	△24.1	1,800	△36.4	1,250	△35.7	47.52

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	26,535,508 株	26年3月期	26,535,508 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	190,012 株	26年3月期	233,183 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	26,324,999 株	26年3月期2Q	26,234,267 株

※期末自己株式数については、従業員持株ESOP信託口が所有する当社株式(27年3月期2Q137,400株、26年3月期180,700株)を含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行の経済・金融政策を背景に、雇用・所得環境や企業収益の改善など緩やかな景気回復基調にあるものの、消費増税に伴う駆け込み需要の反動や夏場の天候不順から個人消費に弱い動きがみられるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

飼料業界におきましては、主原料のとうもろこし価格が、米国産の堅調な輸出需要やウクライナの情勢悪化による同国の供給減少懸念などから上昇しましたが、初夏以降、米国で天候に恵まれたことから値を下げております。こうした原料状況を反映して、飼料メーカー各社は配合飼料価格を 2 度値上げしましたが、競争激化により、原材料価格の上昇分全てを転嫁できなかったことにより、厳しい事業環境となりました。

このような状況のなか、当社は原料高騰に対応するために、原料の有効的利用によるコストダウン等を実施し、原価の低減に注力しました。また、新たな市場開拓はもとより顧客の要望に合致した新製品の開発、積極的な販売活動の推進による売上拡大を図る一方、生産性向上、経費の削減などにより業績の向上に努めてまいりました。

その結果、当第 2 四半期連結累計期間の業績は、売上高778億24百万円（前年同四半期比4.8%増）、営業利益6億37百万円（前年同四半期比18.3%減）、経常利益5億85百万円（前年同四半期比37.6%減）、四半期純利益4億12百万円（前年同四半期比32.5%減）となりました。

売上高は、主力の畜産飼料の販売量が前年同四半期を上回ったことなどにより、4.8%の増収となりました。営業利益は、飼料販売量が増加したものの、売上総利益率の低下や販売費及び一般管理費の増加などにより、18.3%の減益となりました。四半期純利益は、営業外費用に貸倒引当金繰入額を計上したことなどにより、32.5%の減益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(飼料)

売上高は、平均販売価格が前年同四半期を若干下回ったものの、販売量が上回ったため、前年同四半期比3.9%増の651億93百万円となりました。セグメント利益は、畜産飼料の販売量が増加したものの、原料ポジションの悪化と競争激化による売上総利益率の低下や貸倒引当金繰入額の増加などにより、前年同四半期比30.9%減の4億10百万円となりました。

(コンシューマー・プロダクツ)

売上高は、ペットフードの販売量がほぼ横ばいだったものの、畜産物の取扱量が増加したことにより、前年同四半期比15.5%増の93億33百万円となりました。セグメント利益は、前年同四半期比41.4%減の59百万円となりました。増収減益となった主な理由は、競争激化による利益率低下と運賃などの費用が増加したためであります。

(その他)

売上高は、前年同四半期比4.0%減の32億98百万円、セグメント利益は、前年同四半期比53.4%減の96百万円となりました。減収減益となった主な理由は、畜産用機器の輸出が伸び悩んだためであります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第 2 四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 8 億90百万円増加の662億73百万円となりました。流動資産は411億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億 3 百万円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金が 4 億 6 百万円、商品及び製品が 1 億97百万円、その他の流動資産が 6 億円増加したことによるものであります。固定資産は251億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ 2 億12百万円減少しました。これは主に投資有価証券が 3 億96百万円増加したものの、有形固定資産が 2 億33百万円、無形固定資産が 2 億82百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第 2 四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ 2 億54百万円増加の291億62百万円となりました。流動負債は236億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ 8 億 3 百万円増加しました。これは主に買掛金が18億13百万円、未払法人税等が 3 億93百万円減少したものの、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が28億75百万円増加したことによるものであります。固定負債は55億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ 5 億49百万円減少しました。これは主にその他の固定負債が 1 億34百万円増加したものの、長期借入金が 7 億15百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第 2 四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ 6 億35百万円増加の371億10百万円となりました。これは主に利益剰余金が 1 億77百万円、その他有価証券評価差額金が 2 億49百万円、繰延ヘッジ損益が 1 億79百万円増加したことによるものであります。純資産が増加した結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ 0.2ポイント増加の56.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、10億65百万円となりました。当第 2 四半期連結累計期間における資金の減少は 1 億22百万円でありました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は12億15百万円（前年同四半期は29億 7 百万円の資金獲得）となりました。主な資金獲得の要因は税金等調整前四半期純利益 5 億67百万円及び減価償却費12億20百万円の計上であります。一方、主な資金使用の要因は仕入債務の減少22億83百万円、法人税等の支払額 6 億40百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は 8 億33百万円（前年同四半期比34百万円減少）となりました。これは主に固定資産の取得による支出 8 億40百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は19億27百万円（前年同四半期は18億38百万円の資金使用）となりました。これは主に借入金の増加が純額で21億65百万円、配当金の支払額 2 億63百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年 3 月期の業績予想につきましては、平成26年10月22日に公表いたしました数値から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年 5 月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年 5 月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第 1 四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の算定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

なお、この変更に伴う期首の退職給付に係る資産、退職給付に係る負債、利益剰余金及び損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,197	1,075
受取手形及び売掛金	28,523	28,929
商品及び製品	1,985	2,182
仕掛品	620	610
原材料及び貯蔵品	5,651	5,737
その他	2,347	2,947
貸倒引当金	△303	△358
流動資産合計	40,022	41,125
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,549	6,356
機械装置及び運搬具(純額)	5,431	5,351
工具、器具及び備品(純額)	575	613
土地	7,180	7,183
リース資産(純額)	23	21
有形固定資産合計	19,759	19,526
無形固定資産	1,061	778
投資その他の資産		
投資有価証券	3,470	3,867
長期貸付金	968	955
退職給付に係る資産	214	211
その他	653	740
貸倒引当金	△766	△931
投資その他の資産合計	4,539	4,843
固定資産合計	25,360	25,147
資産合計	65,382	66,273

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,030	9,217
短期借入金	6,600	9,200
1年内返済予定の長期借入金	2,020	2,295
未払法人税等	660	267
賞与引当金	354	440
役員賞与引当金	39	—
その他	2,129	2,219
流動負債合計	22,835	23,639
固定負債		
長期借入金	4,250	3,535
債務保証損失引当金	48	45
退職給付に係る負債	423	456
資産除去債務	83	83
その他	1,267	1,402
固定負債合計	6,073	5,523
負債合計	28,908	29,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,695	2,695
資本剰余金	2,353	2,353
利益剰余金	30,003	30,180
自己株式	△145	△118
株主資本合計	34,906	35,110
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,188	1,437
繰延ヘッジ損益	380	560
為替換算調整勘定	△6	△12
退職給付に係る調整累計額	△8	△7
その他の包括利益累計額合計	1,553	1,978
少数株主持分	14	21
純資産合計	36,474	37,110
負債純資産合計	65,382	66,273

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日)
売上高	74,287	77,824
売上原価	67,511	71,037
売上総利益	6,776	6,787
販売費及び一般管理費	5,995	6,149
営業利益	780	637
営業外収益		
受取利息	7	5
受取配当金	61	68
貸倒引当金戻入額	17	—
債務保証損失引当金戻入額	37	2
保管料収入	54	91
負ののれん償却額	20	—
その他	95	78
営業外収益合計	294	245
営業外費用		
支払利息	43	42
持分法による投資損失	24	8
貸倒引当金繰入額	—	154
保管料原価	48	85
その他	19	6
営業外費用合計	135	298
経常利益	939	585
特別利益		
固定資産売却益	3	2
特別利益合計	3	2
特別損失		
固定資産除売却損	12	15
投資有価証券評価損	7	5
ゴルフ会員権評価損	0	0
特別損失合計	20	20
税金等調整前四半期純利益	923	567
法人税、住民税及び事業税	354	268
法人税等調整額	△47	△120
法人税等合計	307	147
少数株主損益調整前四半期純利益	616	420
少数株主利益	4	7
四半期純利益	611	412

(四半期連結包括利益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	616	420
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	302	249
繰延ヘッジ損益	△119	179
為替換算調整勘定	3	△1
退職給付に係る調整額	—	1
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△4
その他の包括利益合計	187	424
四半期包括利益	803	844
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	797	837
少数株主に係る四半期包括利益	6	6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	923	567
減価償却費	1,291	1,220
持分法による投資損益(△は益)	24	8
のれん償却額	4	—
負ののれん償却額	△20	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	153	85
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△38	△39
退職給付引当金の増減額(△は減少)	23	—
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	3
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	35
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△37	△2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27	219
受取利息及び受取配当金	△68	△73
支払利息	43	42
為替差損益(△は益)	△2	△2
投資有価証券評価損益(△は益)	7	5
ゴルフ会員権評価損	0	0
固定資産除売却損益(△は益)	9	13
売上債権の増減額(△は増加)	159	△437
たな卸資産の増減額(△は増加)	867	△276
仕入債務の増減額(△は減少)	161	△2,283
その他	△164	312
小計	3,308	△603
利息及び配当金の受取額	69	75
利息の支払額	△44	△47
法人税等の支払額	△426	△640
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,907	△1,215
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付金の回収による収入	81	76
有価証券の取得による支出	△103	△12
有価証券の売却による収入	—	0
固定資産の取得による支出	△826	△840
固定資産の売却による収入	21	9
関係会社出資金の払込による支出	△70	△73
その他の支出	△3	△0
その他の収入	34	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△867	△833

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月 30 日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,000	2,600
長期借入れによる収入	1,400	600
長期借入金の返済による支出	△1,056	△1,035
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	27	27
リース債務の返済による支出	△3	△2
配当金の支払額	△209	△263
少数株主からの払込みによる収入	2	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,838	1,927
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	203	△122
現金及び現金同等物の期首残高	1,040	1,187
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,243	1,065

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクツ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	62,771	8,080	70,851	3,435	74,287	—	74,287
セグメント間の 内部売上高又は振替高	378	0	378	19	398	△398	—
計	63,150	8,080	71,230	3,455	74,686	△398	74,287
セグメント利益	594	101	696	207	903	19	923

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△486百万円、金融収支497百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

II 当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクツ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	65,193	9,333	74,526	3,298	77,824	—	77,824
セグメント間の 内部売上高又は振替高	405	0	405	21	427	△427	—
計	65,598	9,333	74,931	3,319	78,251	△427	77,824
セグメント利益	410	59	470	96	566	0	567

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△494百万円、金融収支511百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。